



HOKKAIDO! ECO

地球の“いま”と向き合い、“いま”に気付いて、“いま”から思いやりのある行動を
地球にやさしい・エコプロジェクト



IPCCって何のこと?

世界の気象を研究する国際機関
IPCCとは「気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change)」の略称。人為的な気候変動の影響に関する最新の科学的・技術的・社会的な知見をとりまとめて評価し、各国政府にアドバイスとカウンセラーを提供することを目的として1988年に組織されました。政府関係者に限らず世界有数の科学者が参加しています。その活動と功績によって2007年にはノーベル平和賞が授与されています。

地球の気温は平均4.0℃上昇

IPCCは「評価報告書」と呼ばれるレポートを定期的に作成し、地球温暖化に関する最新の調査結果や今後予測される影響について報告しています。07年に発表された第4次評価報告書では、人類が石油などの化石エネルギーを現在のペースで消費していった場合、今世紀末までに地球の気温は平均で4.0℃、最高で6.4℃上昇すると予測しました。

温暖化で気温が上がるとうなる?

確実に進行している地球温暖化
過去100年間に地球の平均気温は約0.74℃上昇し、その影響と考えられる異常気象も多発しています。05年に超巨大ハリケーン「カトリナ」がアメリカ南部に上陸し、大きな被害をもたらしたのは記憶に新しいところです。また海水の温度上昇によるサンゴ礁の破壊も深刻で、特に太平洋では年に3,000kmを超えるペースで消滅しています。

変わりつつある日本の四季

地球温暖化の影響は日本国内でも現れ始めました。たとえばサクラの開花は過去50年間で4.2日も早まったといわれています。また07年の7月には本州の2カ所で気温40.9℃が観測され、国内最高気温の記録を74年ぶりに更新。全国の101カ所でも観測史上最高気温を記録しました。



地球環境ノート

VOL. 6

「北海道発・地球環境ノート」は、「地球温暖化」防止に向けた温室効果ガス6%削減を実現するために、世界・日本・北海道の環境の“いま”や今すぐ実践できる“地球にやさしい生活”をシリーズでお伝えします。

6.4℃

シリーズ6回目のキーワードは“6.4℃”

地球温暖化がこのまま進行した場合に、21世紀末までの気温上昇の最大値としてIPCCが予測した数字がこの6.4℃です。地球の気温は人間の体温と同じようなもの。1℃上がるだけで調子が悪くなってしまいます。もし6.4℃も上昇したら……？この「地球環境ノート」をヒントに、地球の未来について少し考えてみましょう。

人間への影響は?

大災害や食糧危機の可能性も
地球温暖化による気温の上昇は、人間社会にも大きな影響をもたらすと予測されています。地球規模で気候が変動すれば洪水や干ばつ・熱波などの自然災害が頻発し、世界中で多くの犠牲者を出すことになるかも知れません。また米や麦など農作物の収穫量も不安定になり、発展途上国を中心に深刻な食糧不足を引き起こす可能性も高くなります。

地球温暖化が引き起こす“病氣”
また人間の健康面への影響も問題の一つです。地球全体の気温が上昇すると、マラリアやデング熱といった熱帯伝染病を運ぶ蚊などが生息できる範囲が広がり、これらの病気の患者数が爆発的に増える危険があります。また地球の平均気温が4.0℃上昇した場合、日本の真夏日の日は70日も増え、熱中症の患者が増えると予測されています。

北海道はどうなる?

自然の動植物も温暖化の犠牲に
わたしたちの暮らす北海道も、地球温暖化と無縁ではありません。海水温度が上昇すればオホーツク海の藻類・魚などの生態系が変化し、海域全体の漁獲量に大きな影響が出ると考えられています。また内陸部では気温の上昇により植生が激変し、日高アポイ岳のヒダカソウは早ければ30年後には消滅する可能性があるといわれています。

今こそ求められる温暖化対策
そのほかにも冬から春にかけて積雪量が変化することで河川の水量が増減し、自然の水資源システムを活用してきた生活用水や工業用水に大きな影響が出るなど、気温の上昇は毎日の暮らしにも深くかかわってきます。地球温暖化は、道民にとっても身近な問題なのです。道民みんなで温暖化対策に取り組みしましょう。

監修／小野有五（北海道大学・大学院 地球環境科学研究院教授） ※参考資料：IPCC第4次評価報告書、国立環境研究所「地球温暖化が日本に与える影響について」「もっともっと知りたい地球温暖化」、気象庁ウェブサイト、北海道環境局環境政策課「北海道地球温暖化防止」、北海道新聞 2007年8月20日号・9月4日号

はじめよう
「地球にやさしい生活」

-1kg

暖房器具の設定を
1℃下げてCO2削減

日本で一番冬の寒さが厳しい北海道。毎日の暮らしに欠かせないのがストーブなどの暖房器具ですが、灯油ストーブも電気エアコンも、エネルギーを消費している以上は必ずどこかでCO2を排出しています。つまりは地球温暖化を進行させているのです。

設定温度を1℃下げるだけで効果大！

だからといって北海道の冬に暖房器具を使わないワケにはいきませんので、ここではまず暖房の設定温度から見直してみましょう。例えばいつもの冬なら23℃に設定するところを、1℃下げて22℃にする。これだけで灯油ストーブなら1世帯あたりのCO2排出量を1年間で約88kgも削減できます。

また暖房の設定温度を1℃下げるとは光熱費の節約にもつながります。ガソリンや灯油の値上がりにより頭が痛いこのご時世、実践してみる価値は十分にありますよ。

参考資料：北海道庁「北海道ウォームビズプロジェクト」ウェブサイト

小野有五の伝言板

トータルアドバイザー
小野有五氏（おの・ゆうご）
北海道大学・大学院
地球環境科学研究院教授

「想定外」をどう防ぐ？

CO2でこれほどの温暖化が起きてしまった、というのも「想定外」のことでしたが、怖いのは、これから起きる「想定外」の自然現象です。去年、天塩川に行ったとき、途中から一部がすごい濁り水になっていたのに驚きました。上流へたどってみると、前日わずか数時間にこれまでになかったような激しい雨が降り、それが煙の土を押し流したことが分かりました。これまでも多少の大雨でも平気だったのに、もうそうはいかなくなっているのです。洪水も起きやすくなっています。だからダムを作れ、とよくいわれますが、ダムで防げるのは、一部の雨にしかすぎません。2003年の「想定外」の大雨では、二風谷ダムに「想定外」の大量の水と土砂と流木が流れ込みました。もしあのまま雨が続いていたら、ダムは決壊する危険にさらされていたのです。事実、住民には避難命令が出されました。ダムは建設だけでも莫大なCO2を出します。「想定外」の大雨には、ダムはかえって危険をもたらすのです。自然を壊さず、あふれた水は川のまわりの低地にためる工夫をするほうが、人間にも魚にも地球にもいいことなのです。

小野有五

みんなで集まってココロもカラダもポッカポカな団らん風景写真を募集中です

わが家の団らん風景写真大募集！！

封書、E-mailで応募できます。

北海道の幸 地産地消セットを（協力：北海道ぎょれん）プレゼント！！

家族が、仲間が、恋人同士が、北海道産食材を使った料理を囲んでココロもカラダもポッカポカになっている団らん風景の写真を募集中です。優秀作品は、北海道新聞紙面で発表するほか、「北海の幸 地産地消セット」（協力 北海道ぎょれん）をプレゼントします。みんなで料理を囲んで楽しく団らんしている写真をドンドン応募下さい。

募集要項

- 募集内容 北海道産食材を使った料理を囲んだ団らん風景の写真を募集します。
- 応募していただく写真のポイント
みんなで料理を囲んで団らんしている楽しさが伝わる写真。
- 応募方法 家族みんなで、またはグループで北海道産食材を使った料理を囲んで団らんしている風景の写真、料理名、使用した北海道産食材名、家族名（匿名・ハンドルネーム可）もしくはグループ名、下記アンケートの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、連絡先電話番号、E-mailアドレス（なくても可）を明記し、封書、もしくはE-mailでご応募下さい。
- アンケート
 - ①あなたの家の冬の室温は何度ですか。
 - ②CO2削減のために今後室温を何度下げますか。
 - ③過度に暖房に頼ることなく快適に過ごすための工夫を教えてください。

（例）鍋料理などで、部屋の温度を上げて、暖房を控えている。スリッパや靴下を履くことで足元を温めている。ウエアなどを重ね着し、暖房時の室温を20℃にする。

WARM BIZ

会社でWARM BIZ、わが家でうちエコ！

ウィークデーは団らんクッキングDAY

暖房を使うことでより多くのエネルギーを必要とする北海道の冬は、オフィスと家庭の両方でCO2削減に取り組む必要があります。そこでオススメなのが「ウィークデーは団らんクッキングDAY」というライフスタイル。ウィークデーは少し早めに帰って、家族や仲間と暖かい食卓を囲む。そんな人にも地球にも暖かいエコ活動をはじめてみましょう。